

人は、生まれてきたら、必ずいつか終わりを迎える。それはいつか誰もわかららない。

一人ひとりには必ず寿命がある。人生は長さで決まるものではない。縁起の悪いものでもない。それはその人の生き方にあるのではないか。障がいがあっても人生を楽しく生きがいを持っている方もいる。健康であっても心に悩みがあり自ら…。

人は一人では生きられない。人の字のごとく人は、誰かに支えられ支えあって生きている。

話を聴いてくれる人がいるかどうかは大事。私は話を聴いて悩みに応えることを大切にしている。生きていくのに生きがいを感じているかどうか、持っているかどうか。

自分の命は両親から生まれたが、10代さかのぼると先祖は1024人の命をつないで今の自分がある。寿命をどう生きるか。どう生きたか。無難な人生がいいと思う



コラム 人権の眼 No.57

「終活」

兵庫県男女共同参画推進員 看取り士 終活コンサルタント **北田 敬**

人が多いかもしれないが、有る事が難しい「有難い」は「有る難」と書く。年を重ねて高齢者になるのではなく、多少の苦難があっても幸せを重ねていく「幸齢者」に終わりのない人生はない。地域に感謝して、地域に自分のできることで地域に生きる。その人にしかできないことがあ。感謝をこめてありがたの人生を大切にしたい。ありがたの反対語は、……。 「あたりまえ」に必ず明日が来るわけではない、今に感謝して自分らしく今を生きる終活を大切にしたい。

最後は誰にどこで看取られたいですか。看取りの経験はありますか。昭和の時代には自宅で看取られていたが、今は、ほとんどが病院で最期を迎える時代に。病院は死に場所ではなく病気を治すところ。臨終とは「臨命終時」。命の終わりに臨む時、「看」取りは、「手」でふれて「目」でみて命のバトンをつなぎたい。

第14回淡路市人権シネマの集い

彼らが本気で編むときは、



©2017「彼らが本気で編むときは、」製作委員会

2020(令和2)年**2月15日(土)**

●昼の部 **13:30** ~ ●夜の部 **18:00** ~

開催場所：**淡路市立サンシャインホール**

住所：淡路市浦148-1 電話番号：0799-74-0250

入場料：**500円** ※2020年1月中旬よりチケット販売開始

映画紹介

優しさに満ちたトランスジェンダーの女性リンコ(生田斗真)と彼女の心の美しさに惹かれ、すべてを受け入れる恋人のマキオ(桐谷健太)。そんなカップルの前に現れた、愛を知らない孤独な少女トモ(柿原りんか)。本当の家族ではないけれど、3人で過ごす特別な日々は、幸せに満ちた素晴らしい時間だった…。桜の季節に出会った3人が、それぞれの幸せを見つけるまでの心温まる60日。

脚本・監督 荻上直子

出演 生田斗真 桐谷健太 柿原りんか ほか

<お問合せ先>淡路市 市民生活部 市民人権課

電話番号：0799-64-2567

主催：淡路市人権教育研究協議会

●編集後記

前号に掲載した北淡中学校野球部の活動に、「感動した」「心が熱くなった」とたくさんの方からお便りをいただきました。お寄せいただいたお便りに書かれたご感想・ご意見の一つひとつに目を通すのが編集にとつての楽しみと なっています。

皆様に、より伝わりやすい、読みやすい紙面づくりを目指して今後とも励んでいきます。(PA)

第56号のクイズの当選者は次の20名です。図書カードをお送りします。(敬称略)
脇素子(中田) 秋田みつ子(大町畑) 松浦美代子(生穂) 山下礼子(生穂) 西岡深里(志筑) 横山礼子(志筑) 谷理加(志筑) 向原朱夏(志筑) 立石昌之(釜口) 土居メイ(久留麻) 古賀田康子(浦) 福島さくら(岩屋) 嶋根政和(岩屋) 小濃たつ子(岩屋) 凧ちずる(室津) 濱田義明(室津) 竹村和代(浅野南) 石上千英子(郡家) 木下文夫(中村) 西林勝子(尾崎)
※正解は「ウンドウカイ」。
応募総数は、104通でした。